



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 元気寿司株式会社
コード番号 9828 URL <http://www.genkisushi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 法師人 尚史
(氏名) 宗田 利良

TEL 028-632-5711

四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	24,027	9.5	1,005	△8.5	1,025	△12.4	676	△17.1
27年3月期第3四半期	21,941	8.9	1,098	49.1	1,170	49.7	816	22.5

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 667百万円 (△24.4%) 27年3月期第3四半期 882百万円 (25.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	76.67	—
27年3月期第3四半期	92.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	17,767	6,030	33.9
27年3月期	15,917	5,453	34.3

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 6,030百万円 27年3月期 5,453百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,380	6.9	1,250	△15.0	1,200	△21.8	730	△40.6	82.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	8,882,908 株	27年3月期	8,882,908 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	54,022 株	27年3月期	53,583 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	8,829,177 株	27年3月期3Q	8,829,629 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済対策や金融政策の効果から、企業収益や雇用・所得環境が改善傾向にあり、景気は緩やかな回復基調にあるものの、海外景気の下振れ懸念や企業業績の先行きに不透明感が見られました。

外食産業におきましては、景況感の回復とともに消費者が高品質志向を強めており、インバウンド消費拡大など一部で明るさが見え始めておりますが、人件費の上昇、原材料価格の高騰など厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で当社グループといたしましては、「品質向上とスピード提供」「溢れる笑顔と情熱」をキーワードに、他社との差別化を図り、より一層の接客サービスの向上に取り組み「新しい寿司レストランの創造」を目指して、全社一丸となり努めてまいりました。また、海外事業におきましては、英国、オーストラリア、カンボジアで新たなフランチャイズ契約を締結するなど、事業のグローバル化を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高240億2千7百万円（前年同期比9.5%増）、営業利益10億5百万円（前年同期比8.5%減）、経常利益10億2千5百万円（前年同期比12.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億7千6百万円（前年同期比17.1%減）となりました。

なお、株式会社神明ホールディングは平成27年6月17日をもって、実質支配力基準により当社の親会社となっております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(国内事業)

国内事業におきましては、お客様第一主義をモットーに、既存店の来店客数増加を維持しながら客単価アップを図るとともに、店舗収益力を強化するための各種営業政策を実施してまいりました。

仕入面につきましては、原材料値上げが相次ぐ中、神明グループとの連携を更に強化することにより、メニューの改善を進めると共に、原価の上昇を最小限に抑えてまいりました。

店舗展開につきましては、回転レーンをなくし、全ての商品をタッチパネルでご注文いただき高速レーンでお届けする、オールオーダー型店舗の出店及び改装に経営資源を集中し、この同型店舗数の拡大に引き続き注力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、新たに関西エリアへの店舗展開として京都府、兵庫県に出店するなど、新設店9店舗を出店し、不採算店等9店舗を退店したことにより、総店舗数は136店舗となりました。また、改装につきましては、17店舗実施いたしました。

この結果、国内事業の業績は、売上高におきましては193億4千6百万円（前年同期比6.5%増）と堅調に推移いたしました。セグメント利益は、新店改装等の積極投資により減価償却費等が増加したこともあり、1億9千5百万円（前年同期比49.3%減）となりました。

(海外事業)

海外事業におきましては、フランチャイズ先との良好な関係維持と新規出店の促進を図るため、派遣指導等を充実するとともに季節メニューの紹介や食材の販売強化に取り組んでまいりました。

店舗展開につきましては、子会社において1店舗、フランチャイズ先において香港10店舗、中国4店舗、インドネシア2店舗、フィリピン1店舗を出店し、また、香港5店舗、中国1店舗を退店したことにより、総店舗数は146店舗となりました。改装につきましては子会社で2店舗実施いたしました。

また、英国、オーストラリア、カンボジアの新たな契約地域において出店準備を進めております。

この結果、海外事業の業績は、売上高46億8千万円（前年同期比23.8%増）、セグメント利益8億8百万円（前年同期比19.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ18億5千万円増加し、177億6千7百万円となりました。負債合計は前連結会計年度末に比べ12億7千2百万円増加し、117億3千6百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億7千7百万円増加し、60億3千万円となりました。この結果、自己資本比率は0.4ポイント下降し、33.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月8日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,180,299	3,945,185
売掛金	362,677	482,179
商品及び製品	276,252	543,223
原材料及び貯蔵品	69,434	78,681
その他	558,954	524,908
貸倒引当金	△4,532	△5,484
流動資産合計	5,443,085	5,568,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,441,195	7,493,059
土地	728,824	728,824
リース資産	4,511,702	5,425,988
その他	1,081,405	1,309,388
減価償却累計額	△6,230,717	△6,779,654
有形固定資産合計	6,532,408	8,177,606
無形固定資産	214,136	213,857
投資その他の資産		
差入保証金	2,532,219	2,557,829
その他	1,199,693	1,250,446
貸倒引当金	△4,513	△822
投資その他の資産合計	3,727,399	3,807,453
固定資産合計	10,473,944	12,198,917
資産合計	15,917,030	17,767,611

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,181,223	1,624,664
1年内返済予定の長期借入金	1,197,080	1,198,926
未払法人税等	125,000	196,000
賞与引当金	167,000	110,000
資産除去債務	25,486	9,500
その他	2,265,032	2,573,329
流動負債合計	4,960,821	5,712,420
固定負債		
長期借入金	1,971,661	2,148,214
リース債務	2,744,101	3,115,683
資産除去債務	417,059	443,602
その他	370,354	316,881
固定負債合計	5,503,176	6,024,381
負債合計	10,463,998	11,736,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,151,528	1,151,528
資本剰余金	1,344,671	1,344,671
利益剰余金	3,063,660	3,652,299
自己株式	△72,306	△73,359
株主資本合計	5,487,553	6,075,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,042	360
為替換算調整勘定	△44,564	△44,689
その他の包括利益累計額合計	△34,522	△44,329
純資産合計	5,453,031	6,030,810
負債純資産合計	15,917,030	17,767,611

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	21,941,334	24,027,399
売上原価	8,968,848	9,978,489
売上総利益	12,972,486	14,048,910
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	6,003,069	6,457,594
賞与引当金繰入額	79,000	110,000
その他	5,792,264	6,475,994
販売費及び一般管理費合計	11,874,334	13,043,589
営業利益	1,098,152	1,005,321
営業外収益		
受取利息及び配当金	959	17,463
為替差益	91,233	—
受取賃貸料	47,553	40,199
受取手数料	38,361	48,060
その他	4,076	22,222
営業外収益合計	182,184	127,945
営業外費用		
支払利息	90,496	90,636
賃貸費用	18,951	16,665
その他	686	911
営業外費用合計	110,134	108,213
経常利益	1,170,202	1,025,052
特別利益		
固定資産売却益	2,344	—
投資有価証券売却益	—	15,358
賃貸借契約解約損戻入益	—	3,942
特別利益合計	2,344	19,300
特別損失		
固定資産除却損	17,816	26,896
減損損失	51,772	19,737
賃貸借契約解約損	10,021	22,628
特別損失合計	79,609	69,262
税金等調整前四半期純利益	1,092,936	975,091
法人税、住民税及び事業税	146,241	292,810
法人税等還付税額	—	△48,086
法人税等調整額	130,050	53,435
法人税等合計	276,291	298,159
四半期純利益	816,645	676,931
親会社株主に帰属する四半期純利益	816,645	676,931

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	816,645	676,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,524	△9,681
為替換算調整勘定	62,786	△124
その他の包括利益合計	66,310	△9,806
四半期包括利益	882,956	667,124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	882,956	667,124

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,159,694	3,781,639	21,941,334	—	21,941,334
セグメント間の内部売上 高または振替高	—	—	—	—	—
計	18,159,694	3,781,639	21,941,334	—	21,941,334
セグメント利益	385,035	676,422	1,061,457	36,694	1,098,152

(注) 1. セグメント利益の調整額36,694千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,346,536	4,680,863	24,027,399	—	24,027,399
セグメント間の内部売上 高または振替高	—	—	—	—	—
計	19,346,536	4,680,863	24,027,399	—	24,027,399
セグメント利益	195,189	808,527	1,003,716	1,604	1,005,321

(注) 1. セグメント利益の調整額1,604千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。